

【2コース目～】XELOX+ピロイ(600mg/m<sup>2</sup>)療法

【外科】268【胃癌】

(第 コース目)

\*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m <sup>2</sup>	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 3週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	~21
施行日	/	/	/	/
ピロイ	↓	休薬	休薬	休薬
エルプラット	↓	休薬	休薬	休薬
ゼローダ	経口: Day1(夕)~Day15(朝)			

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順		
①	アロカリス注235mg 1V パロノセトロン注0.75mg 1V デキサート注1.65mg 2A デキサート注6.6mg 1V ポララミン注5mg 1A 生食 100mL	30分
②	生食 50mL	10分
③	●ピロイ注【      】mg 注射用水   mL 生食       mL (total 500mL)	投与速度は「■注意事項」参照
④	生食 50mL	10分
⑤	●エルプラット注【      】mg 5%ブドウ糖 500mL デキサート注1.65mg 1A	2時間
⑥	生食 50mL	10分 フラッシュ

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量	
ピロイ(初回)	800 mg/m <sup>2</sup>	mg/Body
ピロイ(2回目以降)	600 mg/m <sup>2</sup>	mg/Body
エルプラット注	130 mg/m <sup>2</sup>	mg/Body
ゼローダ錠	2000 mg/m <sup>2</sup> /分2	mg/Body

※ゼローダ錠は2週間連日投与後、1週間休薬。

入力 薬剤師	看護師	看護師

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- エルプラット注は塩化物・塩基性溶液との混和は不可。
- ピロイは調製後6時間以内に投与終了すること。

《ピロイの投与速度》

- 投与開始の30分間は100mL/hrで投与し、忍容性が良好な場合に投与速度を上げる。  
100mL/hrで開始 ⇒ 30分後200~250mL/hrへ(速度変更後は約2時間かけて投与すること)
- Grade2以上の悪心・嘔吐が発現した場合は30分間投与を中断し、回復後、流速を半分の速度に落として再開できる。

○デカドロン錠8mg(内服オーダ)はday2,3,4に投与する。

○糖尿病でないことを確認し、必要に応じてジプレキサ錠5mg(内服オーダ)をday1,2,3,4に投与する。